

科目	単位	時間	履修学年	講師名
病態治療各論 I	1	30	1	
ねらい	人体の機能を基本とし、呼吸器、循環器系疾患の主要症状、病態及び関連した検査・治療について学ぶ。			
回数	授業内容	授業方法		
1 回目	【呼吸器】（14 時間） 1. 症状とその病態生理（喀痰、血痰、喀血、咳嗽、胸痛、呼吸困難、他覚症状） 2. 検査と治療・処置（血液検査、喀痰検査、胸水検査、画像診断、内視鏡検査、生検、呼吸機能検査、睡眠時モニタリング、吸入療法、酸素療法、人工呼吸療法、呼吸理学療法、気道確保、胸腔ドレナージ） 3. 疾患の理解 1) かぜと急性気管支炎、インフルエンザ、肺炎、結核 2) 間質性疾患、気道疾患、肺血栓塞栓症、呼吸不全、呼吸調節に関する疾患 3) 肺腫瘍、肺・肺血管の形成異常、胸膜・縦隔・横隔膜の疾患、肺移植、胸部外傷 4. 呼吸器外科（開胸術、胸腔鏡手術）	講義		
2 回目		講義		
3 回目		講義		
4 回目		講義		
5 回目		講義		
6 回目		講義		
7 回目		講義		
1 回目	【循環器】（15 時間） 1. オリエンテーション・グループ決め・テーマ割り振り 2. 循環器総論・第 3 回の発表準備 3. 発表：狭心症・心筋梗塞、質問、第 4 回の発表準備 4. 発表：心不全、質問、第 5 回の発表準備 5. 発表：高血圧、質問、第 6 回の発表準備 6. 発表：心臓弁膜症・心筋症など、質問、第 7 回の発表準備 7. 循環器総論、発表：不整脈、質問 8. 血管疾患、総括、試験について 終講試験(45 分)	講義・演習		
2 回目		講義・演習		
3 回目		講義・演習		
4 回目		講義・演習		
5 回目		講義・演習		
6 回目		講義・演習		
7 回目		講義・演習		
7.5 回目 15 回目(45 分)		講義 試験		
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ（医学書院） 成人看護学②呼吸器 成人看護学③循環器			
評価方法	筆記試験（ 1 時間 [45 分間] : 100 点 ）			
備考				